

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東北)		コンビニ（店長）	来客数の動き	・春になり、来客数が増えてきている。桜が早く咲いたためゴールデンウィークまでは持たないが、最近は大気も良く行楽客も前年に比べて増えている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・春夏物の受注が入り始めており、修理部門も増えてきている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・3月から、来客数が前年を上回るようになってきている。東日本大震災後の特需で、一時的に膨れ上がったマーケットの縮小が、いよいよ終わりを告げ反転してきていることから、少しずつ景気が上向いているのではないかと。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・気温が上がることで人の動きが出てきており、来客数、売上共にプラスとなっている。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・行楽シーズンに入り、個人客及び団体客の申込が多くなっている。また、宿泊単価が微増ではあるものの、前年よりも上昇している。
		旅行代理店（店長）	販売量の動き	・国内団体旅行の動きは低調であるが、国内個人旅行の動きが活発であり、海外旅行の予約件数も伸びてきている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・販売量の良い状態が続いている。季節的に花見もあり、新入社員の歓迎会などで繁華街に客が途切れない状態である。客から話を聞いても景気が悪いという話を聞かない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・新年度に入って来街者も多くなり、物販店、飲食店共に来客数は順調である。ただし、客単価の上昇は依然として難しいという声が多い。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・暖かくなるにつれて、購買活動が活発になる傾向にあり、商店街を歩く人にもやや活気がみられる。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・高額商材の動きが良く、客は値段よりも自分の好みに合わせてお金を使っている。節約をするというよりも、必要なものにお金をかける傾向がみられている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・駅前に大型商業施設がオープンした影響で前年から売上が低迷していたが、今月はその反動もあって、売上が久しぶりに前年を上回っている。また、黄金を扱った催事でも予定どおりの売上であり、更には高額商材を買い求める動きも出てきている。婦人服の売上も前年を上回っており、全体的に景況感は良くなっている。
		百貨店（経営者）	販売量の動き	・季節商材の動きが良くなっており、前年に比べて、バッグ、雑貨を中心に高額商材が好調に推移してきている。また、今まで厳しかった婦人服の一部に動きが出ている。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・既存店の売上は順調に推移している。特に客単価、買上点数の伸びが良い。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・次世代たばこの販売量増加、揚げ物やコーヒーなどのカウンター商材が好調であり、客単価の前年比が1ポイント以上伸びている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・3月に売り込みに奔走した成果で、作業服などの受注が増加している。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・白物家電は前年並みの売上と販売単価を維持している。ただし、4Kテレビが堅調に売れ、客単価が上昇しており、全体的な数字は前年を上回っている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・各社とも決算期であり、年間最大の需要期でもあるため、受注量が一気に増えている。ただし、後半は勢いが衰えた感がある。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・ここ数か月ずっと、土日の新規客の来客数が非常に少ない状態が続いている。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・何が要因かは定ではないが、前年と比較して、年度末から新年度の売上が大分良くなっている。少しずつではあるが景気は良くなっていることを実感している。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・花見を目的とした観光客が増えるシーズンであるが、例年に比べて明らかにインバウンド客が増えている。また、地元の顧客も、暖かくなるにつれて外食に出かけるシーンが増え、3か月前と比較すると状況は改善されてきている。
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・今月は、ここ数か月のなかでも良い入込であり、前年を上回っている。	

都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・桜の開花に伴い桜の名所ツアーが行われるが、今年 は特に数が多いように見受けられる。そのため、宿泊 部門、レストラン部門の来客数が増加している。
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・レストランの来客数が、前年と比較して5%ほど伸 びている。
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・加入促進イベントや広告宣伝を控えているにもか かわらず、新規の加入者が増えてきている。同業他社 との競争が最も激しい時期でありながらも、インター ネットサービスの加入者が増えている。
遊園地(経営 者)	来客数の動き	・ゴールデンウィーク前半の動向次第ではあるが、今 のところは春休みと週末の天候に恵まれており、来客 数は前年を上回っている。
その他サービス [自動車整備 業](経営者)	来客数の動き	・4月に入っても来客数は引き続き順調である。
商店街(代表 者)	来客数の動き	・春らしい好天の日が続いており、街なかにも人が結 構出てきている。ただし、桜まつりの最盛期であり、 そちらに足を向ける客が非常に多い。
一般小売店[書 籍](経営者)	単価の動き	・客単価が若干の上昇傾向にあるため、来客数の減少 をカバーしている。
一般小売店[医 薬品](経営 者)	販売量の動き	・来客数は減少しているが、1人当たりの単価、販売 量の動きが良い。客の様子をみても買い渋りは見受け られない。
一般小売店[カ メラ](店長)	販売量の動き	・販売量は横ばいで推移している。高額商材の動きは 良くなっているものの、売上の増加はみられていな い。
百貨店(売場主 任)	来客数の動き	・気温が高まり比較的好天が続いたにもかかわらず、 来客数の減少に歯止めがかからない。物産展などの来 客数はあるものの、売場を回遊する姿からは、春の ファッションに対する積極的な購買姿勢が見受けられ ない。
百貨店(営業担 当)	お客様の様子	・紳士服、婦人服共にアパレルの不調が続いている。 客は低単価のファストファッションに流れている。
百貨店(買付担 当)	お客様の様子	・春物を求める顧客と、セール品の需要が高いフリー 客というように、客の動向が分かれている。そのため、 総合的にみるとあまり変化がない状態である。
スーパー(経営 者)	来客数の動き	・既存店の来客数減少に加えて、ディスカウント ショップとの競争激化により、価格が低下している。
スーパー(経営 者)	単価の動き	・4月の平均1品単価、買上点数、来客数の前年比は 横ばいで推移している。客の買物傾向に変化はみられ ていない。
スーパー(営業 担当)	来客数の動き	・来客数の前年比をみても、特売商品がある場合は増 加するものの、週間トータルでは横ばいであり、変化 がない。
スーパー(営業 担当)	販売量の動き	・既存店の売上、来客数共に前年をわずかに下回っ ているものの、ポイントカードでの販促を強化した結 果、買上点数及び客単価は103%と伸ばすことができ ている。
コンビニ(経営 者)	お客様の様子	・売上の前年比は横ばいで推移している。
コンビニ(エリ ア担当)	単価の動き	・外的環境は悪くなる一方であり、来客数は減少傾向 にある。ただし、そのなかでも客単価の動きが多少良 くなっている。
コンビニ(エリ ア担当)	来客数の動き	・来客数の変動があまり活発ではない。
衣料品専門店 (店長)	お客様の様子	・寒暖の差が激しい気候のなか、羽織物を中心に春物 が活発に動いている。カジュアル衣料は、半袖商品を 中心とした夏物商材が立ち上がってきており、順調に 推移している。一方、単価が稼げるビジネス衣料の動 きが不安定であり、売上がかみ合わない状態である。
衣料品専門店 (総務担当)	販売量の動き	・新入学などにより部活関連用品をそろえる月である ものの、販売量は芳しくない。また、春物商材の売行 きが悪い。
家電量販店(店 長)	来客数の動き	・来客数は横ばいで推移している。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・全国的には新型車の販売量が好調であるが、地元で はあまりそのような動きはみられない。
住関連専門店 (経営者)	単価の動き	・最近の傾向として、商品が小型化しつつある。ま た、客は仕事を簡略化する傾向にあるため、売上が減 少している。

住関連専門店 (経営者)	来客数の動き	・インターネットによる販売は好調であるが、家具などの耐久消費財の売行きが非常に悪い。
その他専門店 [ガソリンスタンド](営業担当)	それ以外	・灯油の販売量は前年を上回っているが、寒さが続いていることが要因であり、景気が良くなっているわけではない。軽油の販売量も増えているが、建物の取り壊しが多くなっていることと、道路の除染が増えていることが原因であり、復興などの建設にかかわる販売量は増えていない。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・来客数の動きが基本的に変わっていない。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・地元では連泊を伴う全国規模の学会や大会があり、外国客を含めた県外からの来客により、飲食店の売上が伸びている。ただし、地元客の動きは普段どおりのため、景気の動きに変化はない。
観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・前年比もほぼ横ばいの状態であり、また、来客数が一番低迷する月のため、景気が上昇しているような実感はない。
都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・宿泊部門は好調を維持しているものの、一般宴会は若干の人数減少及び単価の伸び悩みがある。全体的にはプラスであるが、そこが気がかりである。
都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・数か月前と変わらない推移であり、来客数や売上が大幅に伸長するということがない。前年比は大幅に良くなっているものの、前年が悪すぎたためであり比較にならない。相変わらず停滞感が継続している。
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・同じ方面、同じホテルを使っている商品の場合、客はより安いものを選ぶ傾向にある。そのことが、単価を含め販売量にも影響している。
旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・夏休みの受注状況は、国内旅行のうち沖縄方面が好調であるものの、それ以外は前年と比較しほぼ横ばいである。一方、海外旅行については情勢不安も続くことから様子見の客が多い。このような傾向は依然として変わっていない。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・特に小売関連の販売量が伸びていない。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化がみられていない。
観光名所(職員)	販売量の動き	・来客数、予約数共に、ほぼ横ばいの前年比で推移している。特に単価が上がるわけでもなく、来客数が減少するわけでもなく、現状維持が継続している。
観光名所(職員)	来客数の動き	・雪解けが遅く、予定していた営業を実施することができない状況である。
美容室(経営者)	来客数の動き	・常連客の再来店率は横ばいであるが、新規客の再来店率は低い。そのため、全体的に来客数の減少傾向が続いている。
美容室(経営者)	来客数の動き	・地元から会社が次々と撤退している。職場が少なくなり、周囲も静かになっているため、利用客も減少している。
住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・住宅受注は、ほぼ目標額まで到達しているものの、建売は在庫がでている。
その他住宅[リフォーム](従業員)	販売量の動き	・4月は大型工事が完了して予算を達成しており、前年の実績も超過している。
商店街(代表者)	来客数の動き	・前年にバスセンターが廃止になって以来、来街者数の前年比が減少しており、景気回復の実感はない。
一般小売店[医薬品](経営者)	単価の動き	・来客数は平年並みであるが、客単価の高い常連客の来店頻度が落ちているため、売上は平年の水準に達していない。
百貨店(売場担当)	来客数の動き	・商環境の拡大により、年々百貨店の存在のあり方が問われているが、景気が大きく回復するような要因がない。
スーパー(経営者)	お客様の様子	・数多くの商品が値上げとなるなか、チラシ価格のデフレ傾向は継続しており、買い回りをする客が常態化している。
スーパー(店長)	来客数の動き	・4月末に競合店の出店がある。
スーパー(店長)	販売量の動き	・4月の売上は前年比99.8%と、3月よりも更に状況が悪化している。
コンビニ(経営者)	単価の動き	・売上、客単価共に前月よりも若干落ち込んでいる。来客数、買上点数は横ばいであるものの、客単価の落ち込み分が、全体的な売上の減少につながっている。

	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・最近は、目的買いが増えて衝動買いが減ってきている。新商品が出て、手には取るものの購入までには至らない客が多い。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の回復がみられないため、売上にもつながらない。
	コンビニ（店長）	単価の動き	・単価が低下気味のなか、買上点数も減少している。客は安いものを買うというよりも、品数を減らしている様子である。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・土日の来客数が著しく減少している。さらに、購買単価が前年に比べて約10%低下している。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・なかなか暖かくならないため、春という実感がわかないのか、来客数も少ない。
	家電量販店（従業員）	来客数の動き	・来客数が減少している。また、例年であれば売れている商品の動きも鈍い。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・4月からエコカー減税の基準が厳しくなっており、新車の販売量が伸び悩んでいる。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量が前年実績を下回りつつある。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・選挙なども終わり、宴会の多い季節のため多少は動きがあるはずなのだが、定番商品の動きが非常に悪い。地元飲食店も数が減り店頭でも定番商品が動かなくなってきたことで、厳しい状況になっている。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	お客様の様子	・今月は飲食店への販売量が良くない。平日と週末の差、繁盛店と静かな店の差など様々な格差が顕著に表れている。また、平日は飲食店へのアルコール類の配送が極端に少なくなっており、消費者が平日に外で飲む機会が減ってきていることを実感している。飲むならお金のかからない家でという傾向がますます高まっている。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	単価の動き	・販売価格競争が激化しており、利益率が低下している。
	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・デフレ傾向が続いており、単価が上がらない。その割には人手不足となっており、あまり良い材料は見当たらない。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・3月はかなり忙しい日が続いたが、4月になり急ブレーキがかかっている。特にディナータイムの来客数がかなり少なくなっている。
	観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・来客数は前年を上回ったものの、売上が伸び悩んでいる。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・法人利用の宴会、個人利用の宿泊、レストラン共に前年を下回っている。また、プレミアムフライデーのイベントもほとんど効果はみられていない。
	競艇場（職員）	来客数の動き	・今月はイベントなどのサービスが特になかったため、来客数に影響がでている。
	× 一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの初日である29日は、繁華街にたくさんの方が訪れている。しかし、それまでは繁華街に全く人が来ず、このままではどうなるのかと心配していた。そのため、来客数、売上共に前年を10%ほど下回っている。
	× スーパー（店長）	来客数の動き	・3月に隣地に競合店がオープンし、来客数が15%ほど減少している。
	× 住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・受注残が減少しているため、販売量も減少している。
	× 一般レストラン（経営者）	それ以外	・3月までは歓送迎会などで忙しかったが、4月になってかなり落ち込んでいる。飲食業界はどこも落ち込んでいる様子である。
	× 一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今まで来客数が比較的多かった週末でも、少ない状況がみられている。平日においても、一概に悪いとはいえないものの、来客数が少ない日が多く、全体的に落ち込んでいる。同業他社も同じような状況であり、困っている様子である。
企業動向関連	-	-	-
(東北)	電気機械器具製造業（企画担当）	取引先の様子	・積極的な設備投資、新製品開発、既存品のバージョンアップが顕著にみられている。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新年度に入り、個人消費に若干の明るさがみえてきている。同時に民間工事の受注が増えてきている。
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・行政の相談案件が増えてきている。

	農林水産業（従業者）	それ以外	・農家の農機具の買換えは例年並みである。
	農林水産業（従業者）	それ以外	・大雪による残雪の影響もなく、春の作業は例年どおりに推移している。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年3月に駅前商業施設の新規オープンがあり、周辺店舗は好調であったが、今年は何の店舗も動きが良くない。月前半は特に動きが鈍く中盤以降は少し動きが良かったが、前年とは程遠い状況である。
	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売促進キャンペーンなどを行っても費用に見合った効果が得られず、販売量の前年割れが常態化している。
	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月は、年度初めであるのにもかかわらず、落ち着いた状況となっている。
	建設業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・手持ち工事の繁忙度の高い状態が続いている。
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・物量の横ばい状態が続いている。
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・入札の際に同業他社と同条件であっても、顧客の反応は冷ややかなところがある。何かしらのメリットを少しでも付加しないと落札できない傾向にある。
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の様子に変化はみられていない。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・住宅需要はそこそこある。機械製造業の受注も堅調であり、景気が悪いという雰囲気はない。
	金融業（広報担当）	受注量や販売量の動き	・コンビニ出店の増加などを要因とした物量の増加や、自動車業界における新型車投入のインパクトなどはあるものの、個人消費自体のトレンドには変化がみられない。
	広告代理店（経営者）	取引先の様子	・取引先は様子見の状態が続いている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・春の昇給も、消費を刺激するほどの効果はない様子である。
	公認会計士	取引先の様子	・建設業、小売業、サービス業共に、3月決算の速報値状況では減収、増益の企業が多い。人件費などの圧縮により利益を出しているものの、景気としては大きな変化はない。
	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に大きな変化もなく推移している。
	その他企業〔企画業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・新年度を迎えたが、まだ得意先の動きが鈍く、特に広報関係の動きが鈍いことから、受注量が思うほど伸びていない。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客単価は横ばいであるが、来客数が減少しているため、売上が減少している。景気の後退の影響により、外食や旅行が減少している。
	繊維工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・店頭の売上がかなり悪い。
	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・住宅部材の需要が減少している。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規事業でなんとかカバーしているが、販売量が前年同月と比較して30%落ち込んでいる。
	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・前年と今年の売上前年比を比較すると、3か月前は横ばいであるが、2か月前から約10%減少している。
	窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・業界の需要見通し調査結果からも、景気はやや悪い。
	広告業協会（役員）	それ以外	・新年度に入っても広告業界は明るさがみえない。特に新聞広告は悪く前年を大きく下回っている。テレビ局も4月は前年並みであるが、5月の引き合いが少なく、前年を割る状況にある。折込広告も依然として前年を下回っている。消費が伸びないなか、イベントや行政などの利益の薄い提案に取り組んでいる。
	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・全体の売上において特売の比率が高くなってきている。そのため、粗利益が1.5ポイントほど低下しており、経営においてのネックとなっている。
	その他企業〔工場施設管理〕（従業員）	取引先の様子	・取引先からの受注量が伸び悩んでいる。また、同じ業界のなかでは事業縮小の話なども出てきている。
	x	*	*
雇用関連	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・大手企業からの大口の引き合いがきており、3か月前と比べて好景気に沸いている。

(東北)	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人数の増加は継続している。特に東北エリアの特徴である製造業については、自動車関連、半導体関連の好況に伴い、裾野産業も活況を呈している。裾野産業企業では、生産量増加に伴う各種ワーカー、基幹職の募集を行っているケースが多いため、結果的に求人数が伸びている。</li> </ul>
	職業安定所(職員)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業関係の出店がある程度落ち着いてきている。</li> </ul>
	職業安定所(職員)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復興関係が大分進んできており、内陸部の住宅の確保も順調である。また、店舗も新しい店の開店準備などによる求人が出てきている。ただし、パート求人が多い。</li> </ul>
	職業安定所(職員)	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部業種では求人数の微減がみられたものの、その他の主要産業では増加傾向となっている。また、5人以上の職場の人員整理も減少している。求職者は減少傾向が続いており、雇用保険の受給者実人員は23か月連続で減少している。</li> </ul>
	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年4月向けの新卒採用において、本来は6月から開始となる面接を先行して行っている企業が多い。地元でも既に内定を出している企業が多くみられており、例年以上に早い人材確保の動きから、引き続き景気が好調なことを実感している。</li> </ul>
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に入り求職者数は上向きに転じたものの、求人とのミスマッチが多い。</li> </ul>
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度またぎで契約期間を満了した契約社員、派遣社員の求職者が動く時期である。しかし、ここ数年と同様に期待したほどの動きはなく、鈍いまま推移している。</li> </ul>
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月前半までは求職者の動きも活発だったが、中旬ごろから落ちついてきている。</li> </ul>
	アウトソーシング企業(社員)	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年と比較しても、仕事量に大きな変化はない。</li> </ul>
	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足のため、既存店舗を廃止したり、出店計画を見直す動きがある。</li> </ul>
	職業安定所(職員)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度の新規求人数は、前年度同月比の減少で推移している。緊急雇用創出関連求人の減少が主要因であり、多くの業種で求人が充足されずに更新されている。建設業では除染求人が減少したものの、解体など内容にシフトする状況もみられている。</li> </ul>
	職業安定所(職員)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人数の前年比は微増しているが、求職者数の微減傾向に変化がない。正社員の募集に変更する件数も増えているものの、フルタイムでの応募はなく、パートで何とか確保したいという会社の動きに変化はない。</li> </ul>
	学校就職担当者	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度同時期の求人獲得数と比較して微増しているものの、大きな変化はみられない。</li> </ul>
	新聞社[求人広告](担当者)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人数の動きをみると、相変わらず運送業などの業種に偏って人手不足が続いている。全体的に景気が上昇するような動きがなく、やや悪い状態である。</li> </ul>
新聞社[求人広告](担当者)	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震災復興に不可欠な土木職の人材が首都圏に流れている。</li> </ul>	
x	-	-	-